



IMPACT Biz プロジェクト ローンチイベント

ラオスにおける「責任あるビジネス行動」に関する対話

2022年9月15日(木)

PRESS RELEASE

責任あるビジネス行動はラオスの経済復興の鍵



省庁、企業、労働組合、市民社会組織、学界、国際機関が一堂に会した

Image by: Sinsavanh Sonepaseuth, UNDP Lao PDR

2022年9月15日 – ラオス工業商業省、ラオス商工会議所、在ヴィエンチャン日本国大使館、国連開発計画 (UNDP)の共催で、「ラオスにおける責任あるビジネス行動」対話を開催しました。本イベントでは、「ラオス企業のパフォーマンス、説明責任、慣行、透明性改善」事業の開始についての紹介がありました。

過去10年以上にわたって、ラオスはアセアン諸国の中でも急速な経済発展を遂げています。企業行動が日々の生活を豊かにする一方で、環境への負荷は深刻さを増し労働環境を維持することへの課題があります。大気汚染や水質汚濁、生物多様性の破壊、労働者の権利が、不当なビジネスによって侵害されるなど、社会や環境へ負の影響が見られます。

ラオスで活動する企業が環境や社会への負荷を容認することなく経済活動を促進していくためには、ラオスにおいて、責任あるビジネスが浸透することが重要です。

積極的にビジネスの負の影響を事前評価し対策を講じることによって、責任あるビジネス行動が健全な消費行動や雇用の促進、社会への税の再分配を推進します。責任あるビジネス行動は地域コミュニティとの協働に貢献するとともに長期的には高い利益を創出します。

ラオス商工会議所の副代表のサイバディス・ラスポン氏は、「ラオス企業が責任あるビジネス行動を採用することは、ラオス企業の競争力を維持するためにも重要なステップである。責任あるビジネス行動を実施することが多様なスタッフを雇用し、様々なビジネスリスクを未然に防ぎ、新たな市場へのアクセス、新たなブランドイメージを形成することに役立つ。」と述べました。

ラオス工業商業省副大臣マノトン・ボンサイ氏は、「環境への正の影響、外国からの投資が社会的責任に沿ったものになることを期待している。年々、資本が増加する中で、ラオスは長期的に高いレベルでの投資が可能な国である。このため、政府と民間企業が協働して責任あるビジネス行動を促進することが、昨今の経済危機から回復をするうえで重要だ。」と強調しました。

「国連責任あるビジネス行動ガイディングプリンシパル([UN Guiding Principles \(UNGPs\) on Responsible Business Practice](#)) は、責任あるビジネス行動を促進するためのグローバルな枠組みです。

「UNGPs は、加盟国に対し責任あるビジネス行動に対する国内行動計画を策定することを求めています。これまですでに 30 か国が国内行動計画を策定しており、ラオスも遅れをとるわけにはいかない。国連開発計画は近年インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムにて国内行動計画策定を支援してきた。ラオス政府のこれからの取り組みに期待している」と、国連開発計画ラオス特別代表のキャサリン・プオン氏は述べた。

今回、紹介された「ラオス企業のパフォーマンス、説明責任、慣行、透明性改善」事業は、日本国政府によって助成されたグローバル事業の一貫として実施され、ラオス国政府のビジネス環境に関する法整備を支援し、企業が社会的環境的効果評価を実施することを支援し、市民社会組織の不当なビジネスへの監視能力を強化することによってラオスにおける責任あるビジネス行動推進に貢献します。

For more information, please contact:

Ms. Aksonethip Somvorachit
UNDP Communications Analyst
aksonethip.somvorachit@undp.org

Ms. Sinsavanh Sonepaseuth
UNDP Communications and Outreach Officer for Governance
sinsavanh.sonepaseuth@undp.org